

街路樹から地産地消の熱エネルギー普及に向けて —現状と課題、可能性—

月日 : 2月19日(土) 13:00~17:20

開催場所 : 広島大学文学部 B204 講義室 (リテラ)

趣旨説明 : 佐藤高晴 (13:00~13:05)

1部 : 街路樹を用いた木質ペレットについての簡便な安全性検査手法の開発
(13:05~13:55)

- ・ 佐藤高晴(広大総科) : 剪定枝試料の採取と処理について
- ・ 佐久川弘(広大生物圏) : 剪定枝試料の重金属分析について
- ・ 佐藤高晴(広大総科) : 磁気分析と簡便な安全性のモニタリング

2部 : 剪定枝のエネルギー利用—先進地の現状は? (14:00~16:15)

- ・ 谷井敬春氏(NEXCO 中日本) 高速道路伐採木を用いたペレット燃料のリサイクルと今後の課題
- ・ 岡本利彦氏(トモエテクノ) 剪定枝燃料による木質バイオマスボイラの事例
- ・ 大場龍夫氏(森のエネルギー研究所) 木質バイオマス導入の工夫

3部 : 東広島での剪定枝エネルギー利用に向けて—課題と可能性

(16:20~17:20)

総合討論—コメンテーター : 松村幸彦(広大工)

——— 懇親会 ———

連絡先 : 広島大学総合科学研究科 佐藤高晴

電話 : 082-424-6520 Email : staka@hiroshima-u.ac.jp



会場案内図

会場は文学部・文学研究科 B204 リテラ（2階）です。